

2023年6月14日

各位

株式会社イズミ

## イズミとサントリーが協働 「ボトル to ボトル」水平リサイクルを熊本県で開始 6/30(金)よりゆめタウンはません・ゆめタウン光の森で開始、 ペットボトル回収機設置

株式会社イズミは、サントリー食品インターナショナル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小野 真紀子）と協働し、当社が運営するゆめタウンはません・ゆめタウン光の森において、使用済みペットボトルを回収して新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」の水平リサイクルを、6月30日（金）より開始いたします。現在広島県と福岡県、大分県、佐賀県に17店舗設置しており、さらに2023年度末までにゆめタウン光の森・ゆめタウンはませんを含む13店舗の導入を予定しております。



「ボトル to ボトル」の水平リサイクルとは、お客さまのご協力により集められた使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせるリサイクルのことです。正しく分別する事で、何度も「ペットボトル」として循環できます。

この度は、ペットボトル回収機と共にアルミ缶回収機も設置し、リサイクルすることでゴミを減らして限りある資源を大切にまいります。

当社は、環境負荷低減とリサイクル資源の有効活用に寄与することを目的に、使用済みペットボトルの回収を行っております。これまでは、食品トレーや透明パックなどにリサイクルしてきましたが、今回の水平リサイクルを行うことで、これまで以上の環境負荷低減、リサイクル資源の有効活用が可能になります。当社はこれからもお客さまの生活の中でリサイクルの見える化を実現し、持続可能な循環型社会の推進に寄与してまいります。

### < 取り組み概要 >

開始時期：6月30日（金）から

実施店舗：ゆめタウンはません・ゆめタウン光の森

・現在、広島県・福岡県・大分県・佐賀県17店舗へ導入済み

（ゆめタウン東広島、ゆめマーケット西条、LECT、ゆめマーケット西栄、ゆめタウン大竹、ゆめタウン南行橋、ゆめタウン行橋、ゆめマーケットうきは、ゆめマーケット筑後、ゆめタウン筑紫野、ゆめマーケット新宮、ゆめマーケット小倉東、ゆめマーケット青山、ゆめタウン別府、ゆめタウン中津、ゆめタウン佐賀、ゆめタウン武雄）

■ペットボトル回収機の  
画像イメージ、販促物



■ゆめアプリ会員様限定「ペットボトル・アルミ缶リサイクルで値引積立額が貯まる」

ゆめアプリ会員様限定の特典として、ゆめアプリの二次元バーコードをかざしてペットボトル・アルミ缶回収機をご利用いただくと、1本あたり0.2円の値引積立額が貯まります。ゆめアプリ会員様でない方も回収機はご利用いただけます。

■対象資源

### 対象資源

<p><b>無色ペットボトル</b></p> <p>回収 できます</p> <p> PET 飲料用</p> <p> 無色ペットボトル (250mℓ～2ℓ)</p> <p style="text-align: center; background-color: #f08080; padding: 5px;"><b>回収できません</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 汚れたボトル</li> <li>● つぶれたボトル</li> <li>● ソース、しょうゆ、油用のペットボトル</li> </ul>	<p><b>アルミ缶</b></p> <p>回収 できます</p> <p> 飲料用</p> <p> アルミ缶 (160mℓ～1ℓ)</p> <p style="text-align: center; background-color: #f08080; padding: 5px;"><b>回収できません</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スチール缶</li> <li>● 汚れた缶</li> <li>● つぶれた缶</li> <li>● ガスボンベ、スプレー缶、缶詰の空き缶</li> </ul>
--	---

▶ご利用前にご準備ください!!

**① ペットボトルは 外す**

ペットボトルのキャップとラベルは外してください

**② すすぐ**

必ず中をすすいでから入れてください

**ご注意**

つぶれたり、汚れた容器は入りません

<サントリー食品インターナショナル株式会社>

サントリー食品インターナショナルは、「サントリー天然水」「BOSS」などのロングセラーブランドを中心に、清涼飲料、健康食品など多岐にわたる事業を展開。2030年目標として、全てのペットボトルに、“リサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用し、化石由来原料の新規使用をゼロにする”という「ペットボトルの100%サステナブル化」実現を目指しています。